

HITACHI
Inspire the Next

A部門大会25回記念大会企画
「基礎・材料・共通分野の研究・技術開発の25年の歩みと今後の展望」

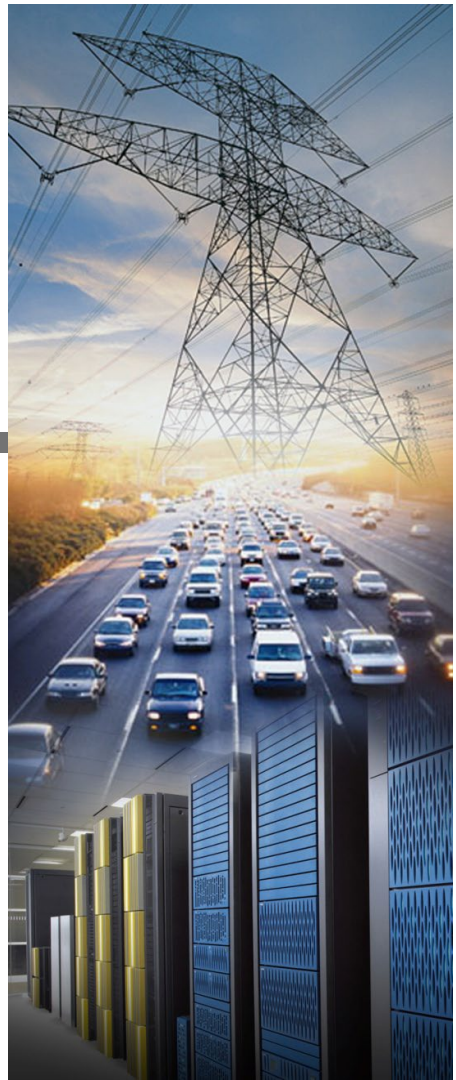
電気技術史技術委員会の活動の歩みと今後の展望

委員長 東京都市大学 中川聡子名誉教授
元電気学会 会長

2023/09/08

電気技術史技術委員会 幹事
澤 敏之

株式会社 日立製作所 社会ビジネスユニット
エネルギーソリューション本部



Contents

- 1. 電気技術史技術委員会設置趣意書**
- 2. 活動紹介**
 - 2.1 これまでの活動記録**
 - 2.2 研究会活動：電気技術史研究**
 - 2.3 調査専門委員会活動：オーラルヒストリー**
 - 2.4 広報活動：ニュースレター**
 - 2.5 国際＆若者啓蒙活動：電気の精**
- 3. 委員会構成の特徴と今後の期待**

設置の目的

- (1) 電気技術者による**電気技術史研究調査の活発化**
- (2) 電気学会会員への**電気技術史に関する情報・知識の提供**、電気分野以外の技術者へさらに 一般社会へのこれら情報・知識の提供
- (3) 日本の電気技術史に関する物件・文献資料の所在把握
- (4) 日本の電気技術史の特質の解明
- (5) 電気技術者の自己の存在の確認、および**次世代の電気技術者となる若人の啓発**
- (6) 我が国電気技術史上の功労者の評価
- (7) 電気技術史に関連する他学協会等との協力・交流・技術史家との交流
- (8) 電気技術史に関連する**国際交流**見出し

2.1 これまでの活動記録:10周年ごとに行事実施

(一社)電気学会 電気技術史技術委員会のあゆみ 30周年記念

令和4年3月(2022年)
電気技術史技術委員会
— The Technical Committee for History of Electrical Engineering
(HEE) —

PPTで71枚

委員長の記事
調査専門委員会
電気学会誌, A部門誌および全国大会での活動
電気技術史ニューズレター
卓越研究成果公開事業
国際的活動:ICEEへのHistory Committee設置活動
A部門, HEEの表彰
顕彰活動:でんきの礎
視野・交流を広げるための外部での委員会&懇親会の開催
中川副委員長の記事(2022年4月~新委員長)

10周年記念行事(懇親会)

(2001年10月3日開催)

年表
委員会の設立に到る経緯
技術委員会の設置趣旨・効果
調査専門委員会、WG活動実績
研究会活動実績
特別講演・シンポジウム等
海外活動／聴き取り調査

海外活動／聴き取り調査
国際交流活動
(海外との連携活動)
学会誌等への記事の掲載
広報活動
新たなテーマへの取り組み
今後の発展を目指して

20周年記念行事(パーティー)

(2011年10月25日)

1. 開会
2. 委員長の挨拶
3. 来賓のお言葉
4. 乾杯
5. 歓談
6. 活動紹介
7. 歓談
8. 閉会の挨拶
9. 閉会



電気技術史ニューズレター
No.26, No.56 No.76

2.2 研究会活動:電気技術史研究会(第90回@2023/06)

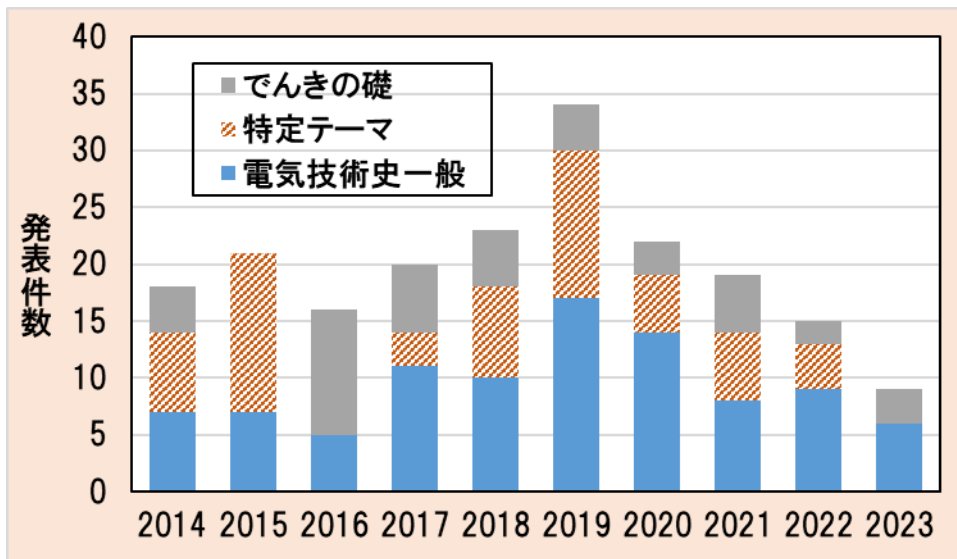
(1)電気技術史一般および特定のテーマに焦点をあてた発表

→研究会プロモータに依存(委員持ち回り)→より広い分野・領域の開拓

(2)「でんきの礎」の発表

→顕彰93件のうち61件→定期的に発表依頼

記録として残す(研究会資料、一部は講演PPTをWeb掲載)



2.3 調査専門委員会活動:オーラルヒストリー

インタビュー 合計57人(学界28人, 産業界29人)

(2016年から3年間、第6期:8名(2.7名/年))

録音データをテキストへ反訳

調査報告冊子「先達を語る」を作成

→電気学会誌に要約版掲載

新型コロナウイルス等による課題

対面でのインタビューが困難

反訳コストが大きい(予算が厳しい)

電気学会名誉員>>インタビュー可能人数

アフターコロナにおける活動方法の検討

オーラルヒストリー活動の在り方

調査専門委員会 2022/4~2025/3

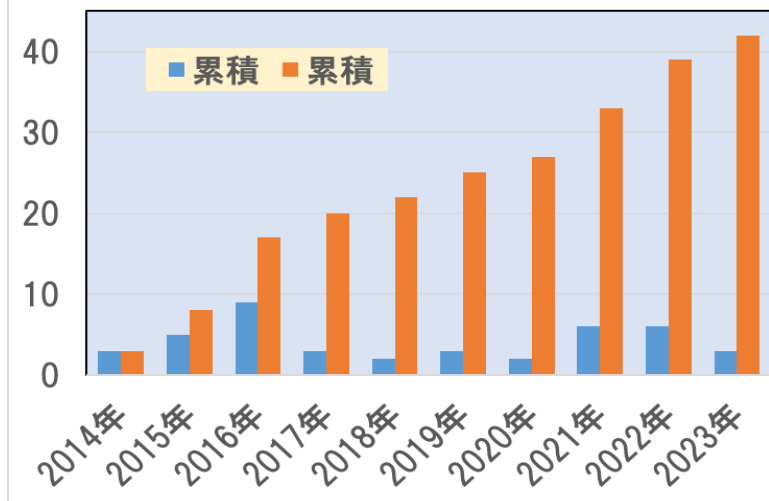
1) オーラルヒストリー活動手順の議論

2) 音声テキスト化ソフト／アプリの調査

3) 活動手順書の作成

4) テストインタビューの実施

新規名誉員(過去10年: 4.2名/年)



ソフト名	メーカー	担当者
RECAIUS	東芝系	高橋委員
オートメモ	ソースネクスト	村上委員
teams	Microsoft	六戸委員
Pixelレコーダー	Google	澤OB
CLOVA Note (アプリ)	LINE	丸島
NOTTA	NOTTA	澤OB

2.4 広報活動:ニューズレター(第92号@2023/06)

◆外部への情報提供&技術委員会の活動記録

◆研究会開催に合わせて発行(年3回)(第92号の記事の例)

- ・巻頭言 :QRコードのIEEE Milestone認定とその技術の概要紹介
- ・特別記事 :松本榮壽様を偲んで
- ・元委員記事 :技術史への思い-変圧器の技術変遷について
- ・幹事記事 :鉄塔カードのマニアへ
- ・研究会情報 :INFORMATION

継続のための課題

- (1) 予算削減
- (2) 郵送のため宛先の管理・更新
- (3) 記事は属人的、職人的な面
- (4) 編集・校正



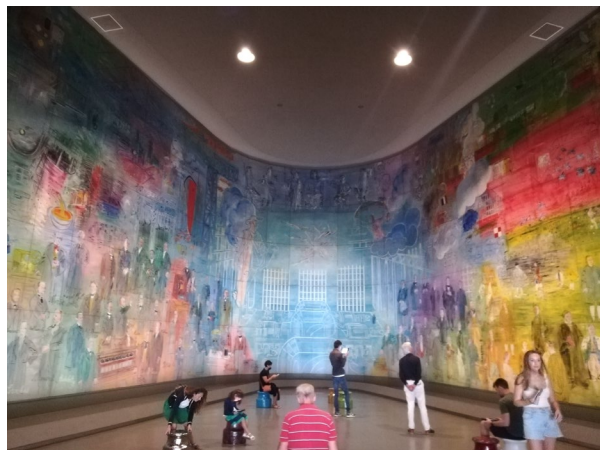
今後に向けた対策など(検討中)

- (1) 電子化、Web掲載のみ
- (2) 電子メール活用(メール管理は必要)
- (3) 記事のコンテンツ発掘(特に巻頭言)
- (4) 委員から広く募集
連載記事(ロゴなど)

2.5 国際 & 若者啓蒙活動:電気の精 by ラウル・デュフィー作 HITACHI Inspire the Next

国際活動

- 第14回特別活動賞(令和4年)
パリ近代美術館における『電気の精』登壇者
日本語紹介コンテンツの作成とデジタル化
- 「電気の精 生誕85周年記念日仏シンポジウム」
の共催
- 85周年記念電気の精のロダンクラブとの会合



『電気の精』の壁画とオーディオガイド@パリ市立近代美術館



若者向けPR@8/5~20千葉現代美術館



電気学会での紹介記事

パリ市立近代美術館「電気の精」のご紹介

<https://www.iee.jp/blog/la-fee-electricite/>

コーヒーブレイクデュフィの『電気の精』へのおさそい

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ieejournal/142/6/142_356/article/-char/ja/

3. 委員会構成の特徴と今後の期待

委員会構成(17名+OB)

委員長:1名、(交替時に副委員長追加)

委員 :12名(1号委員)+1名(二号委員)

幹事団:3名(←4名時代も)

委員会構成の特徴

重電メーカ3社(幹事団も同様)

国立科学博物館、JR東日本、NHK、NEC

大学(経済学部)

B部門/C部門からの委員

電力会社委員が不在(以前はいたが)

→期待:研究会&NLの活発化、活動領域の拡大

★各部門と電力会社からの委員追加

★非会員の参画

活動期間の調査
(2023年9月)

期間	人数
2年未満	4
4年未満	3
6年未満	3
6年以上	2

所属部門の調査
(2021年4月)

部門	人数
A	5
B	4
C	1
D	1
E	0
非会員	2

委員長、2号委員
及び幹事団除く



**Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD**